

「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

同じ小学校区内で活動する団体の行事や活動の予定等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の年間スケジュール表を作成しています。第2回連絡会では、第1回連絡会后にいただいた予定等も追加して、参加者に配布しています。

■主な情報共有の内容

団体	情報の概要
富士ビレッジ 自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・7/29に開催した夏祭りに約450の方が参加してくれました。 ・子育てサロン、街中ほっとカフェは、女性が活発に活動しています。 ・自主防災ときずなづくりに力を入れています。 ・高齢者のつどいや三世代のサロンなどをがんばっていますが、後期高齢者約280人のうち約100人がひきこもり状態なので、何とかしたいです。
沢地町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・10/14に行う駒形神社の祭典に足を運んでください。参加してくれる子どもが増えているので、うれしいです。
光ヶ丘1丁目 町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に防災備品の点検をしています。 ・300世帯で一斉訓練は困難なので、組ごとに防災の活動をしています。 ・住民が困っていることを聞くアンケートを実施したところ、ゴミの問題があります。そこで、高齢者が家の前にゴミを出しておけば、地域の人がごみ収集所まで持って行ってあげる活動を始めました。
富士見台自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で子どもみこしを企画・運営したところ、子ども会以外の子どもも参加してくれました。実際にやってみて、子ども達の身長差が大きくてみこしが難しいことがわかりました。
交通安全母の会	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車では、チャイルドシート、ジュニアシートをしっかりと着けましょう。
光ヶ丘保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公立保育園でスタンプラリーをやっているのので、小さいお子さんはぜひ来てください。
沢地幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・10/26にハロウィンパレードを行います。ぜひ見て下さい。
沢地小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも地域の方々の支えにとっても感謝しています。
北中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の新築をしています。 ・地域と一緒に子どもを育てていきたいと考えていますので、中学生が活躍できる場をご提供くださるとありがたいです。 ・沢地小学校区では、イザ！カエルキャラバンに中学生がボランティアで協力しました。今後も活躍の場をご提供ください。
スクールガード	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの高齢化が進行しています。 ・下校時に家に誰もいない子どもが多いので、家まで送っていくこともスクールガードの仕事になっている現状があります。

団体	情報の概要
沢地小学校 支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・「宿題をやる子の補助」「校庭や通学路の環境整備」「電動ノコギリや調理など危険な授業の補助」の3種類の活動を行っています。 ・ボランティア34名で活動していますが、メンバーの高齢化が問題となっているので、既存の団体と連携していきたいです。
交通安全指導員会	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が増えているので、横断歩道の塗り直しとスクールゾーン指定をしてもらいました。 ・子ども達へのあいさつもがんばっています。子どもたちがあいさつしてくれるととても嬉しいです。
スポーツ推進員	<ul style="list-style-type: none"> ・体育振興会と校区の運動会を開催しています。来月にはウォークラリーも行います。
三島署管内 防犯サポーター	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園で不審者対応を指導する活動をしています。 ・10/4にスクールガードと研修をしました。
保健委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の皆さんの健康づくりの為の活動をしています。
光ヶ丘白光会 (シニアクラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のひきこもりを防ぐため、会員を増やしたいです。 ・歌声喫茶を始めましたが、メンバーが減少しています。
北上地区地域包括 支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェをしています。認知症の方やその家族、一人暮らしの方に来ていただいています。
保護司会	<ul style="list-style-type: none"> ・最近では高齢者の窃盗事件が多く、若者は薬物事件が多い状況です。 ・何かに依存する人が増える傾向があります。 ・壺町田の民生委員は高齢者のリストを作って変化をチェックしており、感心しました。
三島市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。 ・高齢者のサロン等の“居場所”づくりに力を入れています。 ・地域の困りごとの相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。



「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

■旗揚げアンケートの結果

「きずながつくる協働の取組み計画案」に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みの中から、参加者自身が話し合いたいテーマを旗揚げアンケート方式で把握しました。

防災力の高い町内会の事例を共有し、校区全体の防災力を高める。	5
組織にこだわらず、気軽に見守ってもらえる仕組みをつくる。	11
サークルやサロンなど、形式にこだわらないで、高齢者の交流機会を設けるための情報交換をする。	4

その後、選択したテーマごとにグループを作り、第1回連絡会の意見を踏まえて、グループ別に意見交換を行いました。各グループの意見のまとめは、次ページ以降に整理します。



防災力の高い町内会の事例を共有し、校区全体の防災力を高める。

< 前々回の連絡会における意見 >

●**住民の意識を向上させたい**

- ・防災に関する意識を向上させ、地域力を高める。
- ・同じ地域内でも意識が違うが、まず住民の意識を高めることが必要。
- ・避難訓練を実施し、経験するとよい。
- ・普段から防災を意識した連携が必要。
- ・各町内の訓備の違いがあるので、情報や知識を知ることが良い。
- ・小学校高学年は確かな戦力なので防災訓練に参加させる。

●**消防団として重要**

- ・消防団として重要と考えている。

●**成功事例を参考にするとよい**

- ・他地区の設備や装備を知ることが重要。
- ・ゼロから始めるより良い事例をとり入れていった方が効率的。

地域の防災力を高めるアイデア

- ・防災ゲーム（DIG クロスワード）を地域でやるのもいいのではないだろうか
- ・防災ヘルメット等の全員着用。ベスト 72 ケ組
- ・アマチュア無線家
- ・チロリンコ隊
- ・中高生の登用
- ・子ども参加にごほうび
- ・家族名簿地図家ナビ 95%
- ・炊き出し
- ・突発的にバケツリレー

次回までにやること

●**定期的な訓練**

- ・毎月 1 回の避難訓練
- ・年 1 回の引き取り訓練

●**備蓄品・機材の準備**

- ・備蓄食料の保存
- ・避難場所で過ごす場合の最低限の準備品の用意
- ・光ヶ丘 1 丁目町内会器材が揃っている

●**親子の参加促進**

- ・子どもを感化し、親が参加する

●**組織の見直し**

- ・枝に避難所の訓練を行う組織が必要
- ・過去自治会と防災兼任。別組織を作る
- ・各町内の自治→その他全体

参考になる事例は？

●**安否確認**

- ・安否確認を毎年 3~4 回
- ・安否確認 90 名（富士ビレッジ 680 人）

●**炊き出し**

- ・炊き出しイベントごと年間 5~6 回
- ・炊飯訓練

●**イベント時に訓練要素を入れる**

- ・イベントごとに防災訓練を重ねる

●**機材等の点検、使い方の確認**

- ・器材の点検（毎月）
- ・トイレ（5 基保有）の使用方法
- ・器具類の点検

●**ゲーム要素を取り入れる**

- ・危険マップ地図
- ・防災ゲーム（クロスロード）
- ・セタゲーム。ゲーム時間

●**現実的な訓練**

- ・放水訓練（年 2 回）
- ・各組の家族状況
- ・ガレージテントの実施
- ・斜面の確認（各家ごと）

重要な視点

- ・ものでなく人
- ・繰り返し言い続ける
- ・トイレ問題

組織にこだわらず、気軽に(子どもを)見守ってもらえる仕組みをつくる。

目的
(何のため?)

- 地域の子どもと大人が顔見知りになる
- 子どもへの犯罪について危機感を高める
- 防災と交通安全両面での子どもの安心・安全

- 外に立つ人のモチベーションを増やす
- スクールガイドのサポートをする人を増やす

子どもの見守りの現状・課題

<交通量の増加・危険運転が発生>

- ・車の追い越しがある。
- ・縦貫道、農免道路、工業団地ができて交通量が増えた
- ・車の通行列の長さ、学校へ行く子ども達が困っている時がある。

<防犯教室をしている>

- ・小学1年生は防犯教室をする。

<園での不審者対応>

- ・不審者が侵入した際、園の職員だけでは対応が不十分なので、もし侵入者がいた場合、園内放送で近隣にも聞こえる様に放送します。合図は「ひかり先生がきました」なので、ご承知おき頂けると心強いです。訓練をしている時にはフェンスに訓練中の看板を出しています

<規則なしで募集したら50人以上協力>

- ・規則を設けなくて町内で募集してもらった結果53名新規会員ができた。(富士見台)
- ・60~70代の方がほしい。女性でもよい。

どのような見守りが必要?

●集団登下校をする

●子どもが地域の人の顔を知る

- ・スクールガード、支援本部に見守って頂いているが、他の人の顔を知らない
- ・子どもは誰に頼っていいのかわからない

●防災につなげる

- ・防犯だけでなく、災害時の為にも顔見知りになることが大切

●準スクールガード

- ・スクールガードに準ずるくらいの見守り
- ・スクールガード活動を続けていく次世代が欲しい

●その他のアイデア

- ・散歩時に腕章をつける
- ・警察防犯少年

どんな仕組み?

●顔見知りになる

- ・子どもに顔を知ってもらう
- ・廃品回収、戸別訪問を通して顔見知りになる。

●下校時に家の前で見守り

- ・下校時に玄関に立つ
- ・下校時に玄関前の清掃
- ・家の前にベンチを置いて
- ・何かあった時に助けてもらう

●防災訓練時に呼びかけ

- ・かわせみ教室。宿題(勉強)

まずやれることは?

モチベーションを上げる

- ・親に危機感無し
- ・犯罪(発生)情報配布。SP
- ・親以外の準スクールガード

<テーマ外の安全方策>

- ・黄色中央線にする
- ・スクールゾーンの設定
- ・遊歩道を使う

ハード整備は、市にやってもらう

サークルやサロンなど、形式にこだわらずに、高齢者の交流機会を設けるための情報交換をする。

目的 (何のため?)

- 生きがいづくり、孤立の防止のため
- 居場所づくり、閉じこもり防止のため
- 多世代が交流し、顔見知りになるため
- 話せる機会をつくるため

高齢者の交流の現状は？

- ・具合悪くて外に出られない。どうすればいいか？
- ・既存のグループに入り込む勇気がない。

どのような交流がよい？

対象者

- ・対象者を制限しない
- ・町外からでも来られる。

場所

- ・空き家を利用する。
- ・誰かに会えて話ができる場

内容

- ・食べ物交換→1 コイン
- ・偏ったプログラムにしない
- ・お金を払うが、その分気軽に話ができる (楽しい)
- ・やっているうちに話すようになる
- ・歌声喫茶。会員の減少にブレーキがかからない。

参考事例

- ・富士ビレッジの例を参考に組み組みたい。

特異な例なので、参考にできない

クリアすべき課題は？

- 資金面の問題**
 - ・発足経費 (謝金、医者、コーディネーターなど) がかかる ⇒助成金を使う。
- 人集めの問題**
 - ・人を集めるエネルギーが課題。
 - ・人集めが問題である
 - ・女性から声掛けして欲しい
 - ・実行するメンバーの集め方
 - ・会員の増加を図りたいが、どうしたらよいかわからない (光が丘)
- 誰がやるか？**
 - ・自治会長が実行するか ⇒会長を教育する (やる気のある)

課題

- 交通手段が無い**
 - ・集まる場へ行く交通手段が無く、閉じこもっている方が多い
 - ・北上号が通っている所以外が問題

- 自治会ごとやるべき**
 - ・富士見台・光ヶ丘で場所を確保したい

- 場所の確保**
 - ・場所の確保が難しい

- ・毎月日曜日に公民館を利用する
- ・県営住宅を開放予定

まず、何をやろう？

- 仲間づくり**
 - ・仲間をつくる
 - ・地域安心サポーターでやる気のある人がたくさんいる
 - ・サポーターを利用
 - ・地域の方と話す機会を設ける。
 - ・住民に得意技を出してもらおう。
- 関係団体に相談**
 - ・社協や包括に相談
 - ・社協に協力を求める
 - ・居場所づくり養成講座